

# 農園便り 1

月号 (107号)

文責 筒口 典康

(2022/01/1/01)

年の初め、今年の野菜は何を作りましょうか。 タキイ種苗などのカタログのページをめくる。「芝勝」で仕入れる。「オザキフラワーセンター」には、いつでも苗が用意されています。

家庭菜園は、強みであります。 家庭菜園であればこそなのであります。 菜園で有機無農薬栽培で野菜を作ると、毎日新鮮で美味しい野菜がいただけます。私たちは、後期高齢者の二人住まいですから、少しずつ作ればよいのであります。

基本的な畑の構造を作って(今年の農園便り 6月号特集)。 ラクラクオクオクなのであります。混植・混播。後は「水」管理で、**元気野菜**が育っていくのです。完全有機無農薬栽培の畑の始まりであります。

有機栽培は、2～3年は収穫が難しいと言う方もおりますが、1年目は「堆肥栽培」でまいります。積み置いた「落ち葉」「自作有機肥料」醗酵豚糞の「グリーンランド」「カニ殻」「糠」「オカラ」「骨粉」「牡蠣殻」等を地表全体にばら撒く。置くだけ。地表5cmぐらいを三角鍬でかき回す(混ぜる)、とにかく有機物を置く。⇒ **オクオクオク**。置くだけ。待つ。土毎醗酵をさせます。

肥料分の多い畝と少な目の畝を作ります。三角鍬で地表2～3cm程度をかき混ぜるだけなのであります。⇒ **ラクラク**。菜園全体の中央に40cm幅の作業路をつくる。有機無農薬栽培の始まりです。



11/23 2種4株 有機栽培ではヨトウムシの害は少ない。すぐ隣の化成肥の畑の激しい虫害。「光」「水」「土=養分」、「土中の菌たちのバランス」「野菜=植物のバランス」。野原の植物たちの状態を野菜達で再現する。「空気」2.酸化炭素はもちろん必須要件であります。自然循環の畑に期待する。

今年のテーマは、「オクオク・ラクラク」。 小エネであります。

さて、どこでどんな有機物をどのように格安に入手することができるか、できるだけお知らせしていきたいと思う。色々探しております。 先ずは、

「**落ち葉**」 善福寺公園のクヌギ、コナラ、シイなどの落ち葉。青梅街道の櫨の落ち葉。 葉がしっかりしている木の葉が良い。 サクラなどは不適。常緑植物の硬い葉(椎・シラカシなど)の堆肥は、堆肥としての働きが長く続く。

「**刈草**」 千川緑道沿い等の植え込みにイネ科の植物が繁茂する。 色々生えてくる。 マルチに使えます。 イネ科の物は茎葉に糖分が多い。 畝の上に置く。 空地があれば、アワ、キビ、ソルゴー…を植えときます。 トウモロコシの茎葉、サトウキビの茎葉、それらをマルチ材として使うと良い。 笹・若竹の茎葉…など。 それらを土中には入れない(混ぜない)。 地表に置く置くで良い。 ラク。 緑道もきれいになります。 微量要素の補充になる。

「**マメ科植物**」 カラスノエンドウ、クロレタリア、**萩**の茎葉、マメ科野菜の茎葉残渣、…。 マルチ材として使います。 地表に置く。置くだけ。 土中には入れません。マルチにはビニールはなるだけ使わないようにしています。

野菜残渣、根菜野菜の葉、ナス、トマト、ピーマン、トウガラシの残渣…。 野菜屑などは、畝間(仮通路下)、或いは追肥溝に細かく切って置きます。「糠」を振ります。手持ちの「菌」を振ります(播きます)。 納豆容器についているヌメリを撒きます。 バチルス菌(納豆菌)ば強力な菌なので、悪玉菌をやっつける。

「**台所で出た残り物**」 「野菜屑」「生もの」「古くなったうどん粉、きな粉…」 「古煮干し」。 段ボールの箱にビニールを敷いて中に入れる。 「菌」を植えます。 堆肥化します。 大きめのコンポスト(大阪国華園)があれば、本格的に堆肥が作れます。 回転式が扱いやすい。 「酵母菌」を上手に使うと、芳醇醗酵に導きます。(薄上秀男氏・吉田俊道氏の堆肥づくり)

「**鶏糞**」 鶏や鶉をアヒルを飼い、卵をいただいていた時代がありました。 早朝に雄鶏が鳴く。叫ぶ。 鳥たちの糞の強烈臭。 飼えなくなりました。 農協の肥料売り場で「醗酵鶏糞」。これは安めの肥料ですから使っています。 圃場がアルカリ化していきますので、気を配っております。「醗酵鶏糞」を買っている。

畑に生えてくる草たちの様子で、およそのPHを推察していきます。 ハコベ、ホトケノザ、…は、アルカリ化がすすんでいる。 スギナ、カタバミ、ギンギンなどは、酸性化が進んでいる。

「**糠**」 農協で玄米を買う。精米機にかけると「糠」が出る。 いただく。

「**オカラ**」 「オカラ」をもらえる豆腐店が少なくなりましたね…。 上石神井にあった二店舗もかなり前に廃業。 杉並区の松の木通りの店は渡す人が決まっている。 石神井の店は乾燥オカラにしまして、高価な商品になっている。 事あるごとに、折あるごとに、探しております。 手に入るたびに、お知らせ

いたしましょう。 生オカラのいただける店を探している。

「藁」「籾殻」 地方に旅行した時に農協を探す。 米農家、麦づくり農家を聞き出す。 家庭菜園をやっている事情をお話して分けていただく。 感謝の気持ちを示し、継続して世話になる。 藁をマルチ材料によく使っている。 植物中心の腐用土は土を酸性化していく。 ビニールマルチは使わない。 寿司米や酒米の農家の藁は、減農薬栽培なので安全な材料である。

最近では自動車免許を返納してしまいましたので、取りに行けなくなった。 これからどうしようかと考え中であります。

「卵の殻」「貝殻」 卵の殻は、厚焼き玉子を作っている工場を探す。 廃棄物なので無料です。 有機の中和材である。 蛤、アサリ、帆立貝、サザエ、アワビ、シジミ……、破碎して使う。 有機の石灰で緩効性肥料である。

「古くなった穀物」 麦・米・モロコシ・キビ・豆……等の古くなった物、それらの粉粒。 うどん粉、古きな粉……。 醗酵有機肥料を作る時に混ぜる。

「醗酵菌」 麹菌、納豆菌、乳酸菌、酵母菌。 林の中で白く固まっている菌の塊⇒しろ⇒白⇒菌の城。 池の底のヘドロ。 販売されている醗酵肥料の菌。 無農薬、減農薬で作られた果物(ブドウやリンゴなど)の皮には、酵母菌がいっぱいいる。 身近なところで手に入る物である。 糠漬けの床にも沢山「菌」がおります。

「炭」 長野更埴市のモキ製作所の無煙燻炭器がお薦めなのです。きちんと認可された製品なのです。 で、井草の踏切近くの専業農家の白石さんに紹介しました。 十数万の製品で農業用の軟炭を焼くことが出来る。 何度か使われたようです。 すると、消防自動車が！！！！・？？？ 批難ゴウゴウ。 ご近所の声がうるさい。 その後軟らか炭を作るのをお止めになった。 申し訳なかった。 岩手県、北海道の製炭業者で粉炭を買えるのですが、送料が高つく。

「竹炭・竹チップ・竹パウダー」 10年近く探していました。 近いところでも静岡・茨木。 コロナ前に高校の同窓会で名刺交換をしました。 「そうだ！二瓶君がいる！」。 12月10日電話を入れる。 『中1の時、何クラスだった？』…やや心細い。 『俺な一……、竹炭と竹酢、竹チップで農業改善を考えているんだ』…と。 0479-77-4187 竹炭サークル「かぐや姫」であります。 筒口さん紹介で、連絡ください。 対応してくれると思います。 「農園便り」100号～12月号を送る。

「菌を植える」「糠を撒く」 薄上氏の紹介の何処にでもいる菌。 醗酵肥料の中にある菌。「ミコリーザスタート」なる菌根菌の商品もあります。 このミコリは、キノ栽培農家がねを上げてたので、販売中止中。 菌根菌販売で検索すると、色々出てくると思います。 忘れずに「菌」の餌の「糠」を撒く。

## 有機・無農薬栽培で作る家庭菜園の工夫

有機栽培で、1年目から収穫する。 **元気野菜**を作る。  
先ずは不耕起栽培 畑の畝づくりの基本を作る ラクラクオクオク 楽々・置く置くの栽培。 後は水やり。水管理。  
種蒔・苗の植えつけは 混ぜ蒔き・混ぜ植で・・・、 まるで野の草達のように。  
葉物の購入苗は3～4種 2株ずつ 収穫時期をずらす。  
肥料もマルチも置く置く 楽々で。  
追肥用の深溝にドンドン有機物、「菌」を置く。 養分を野菜に採りに行かせる。  
収穫後、株元で切る。細かく(10 cm程度)切ってマルチに使う。株元に「糠」を。  
区画の中央に作業路を設けて、活用すると・・・。  
広幅畝に厚板で仮通路、その効用は・・・ 板の下の置草にミミズが集まる。  
株元に少し離して、追肥用の穴を用意しておく。  
「**元気野菜作り**」で病虫害排除・無農薬で野菜を作る。  
U字支柱を有効活用 止め金具 紐は麻紐 雨除けに活用するなど。  
苗用のトレイ 新聞紙 刈草 「糠」 いろんな使い方がある。  
コンテナで水棲野菜を作る 蚊の発生対策に、メダカを入れる。  
植物同士の相性 ハーブの活用  
日本古来の野菜 江戸東京野菜 暖帯の野菜 亜熱帯・熱帯の野菜の利用。  
鳥類、小動物、両生類・爬虫類、環形動物、クモ、昆虫、多足類、菌・細菌・・・  
炭 「粉炭」「籾殻燻炭」「竹炭」「竹酢」「若竹の茎葉」「木酢」  
参考「福岡正信」「薄上秀男」「吉田俊道」「竹内孝功」「木嶋利男」「現代農業」  
2月号・・・「野菜の時間」NHK「**野菜畑**」家の光社 先人に学ぶ。  
「善玉菌」を味方につける 「納豆菌」「麹菌」「酵母菌」「放線菌」「光合成細菌」「菌根菌」。  
「菌根菌」「光合成細菌」については、専門書又は、パソコン検索でお調べください。  
「醗酵牛糞堆肥」「醗酵馬糞」「コメリ保谷 大泉」「芝勝」「オザキフラワー」「石神井農協」で有機物を探す。



オザキフラワー



芝勝



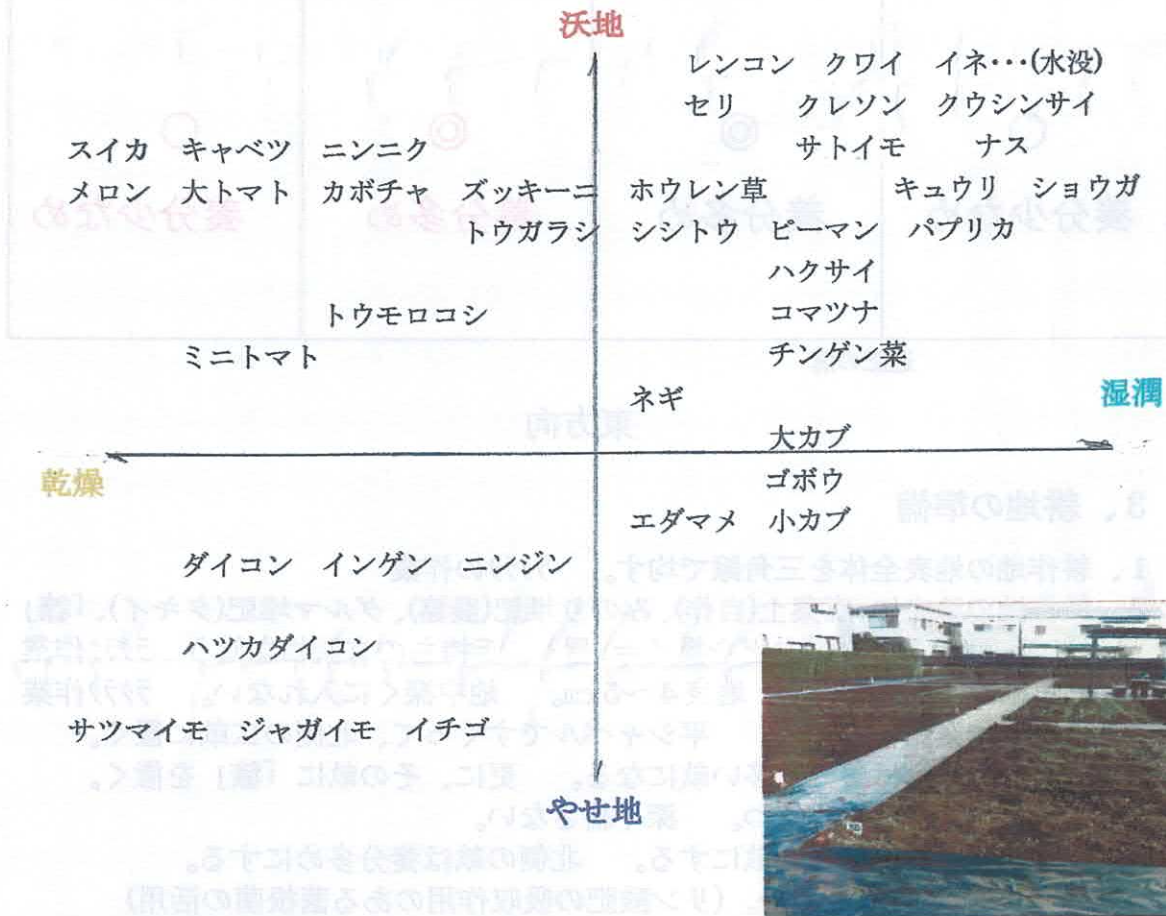
コメリで有機物を探す

余談 バラ作に「グリーンランド」+カニ殻。これで、バラの減農薬栽培が出来るのではなかろうか・・・。有効であると思う。 冬のバラ園に行くと散布された農薬で、白く染まっている。 バラを作り農家の実践で、「光合成細菌」で成果をあげている本田陽生氏の事例も書いていきたい。 これからの花作り、如何に減農薬を図るかを考えていきたい。 T

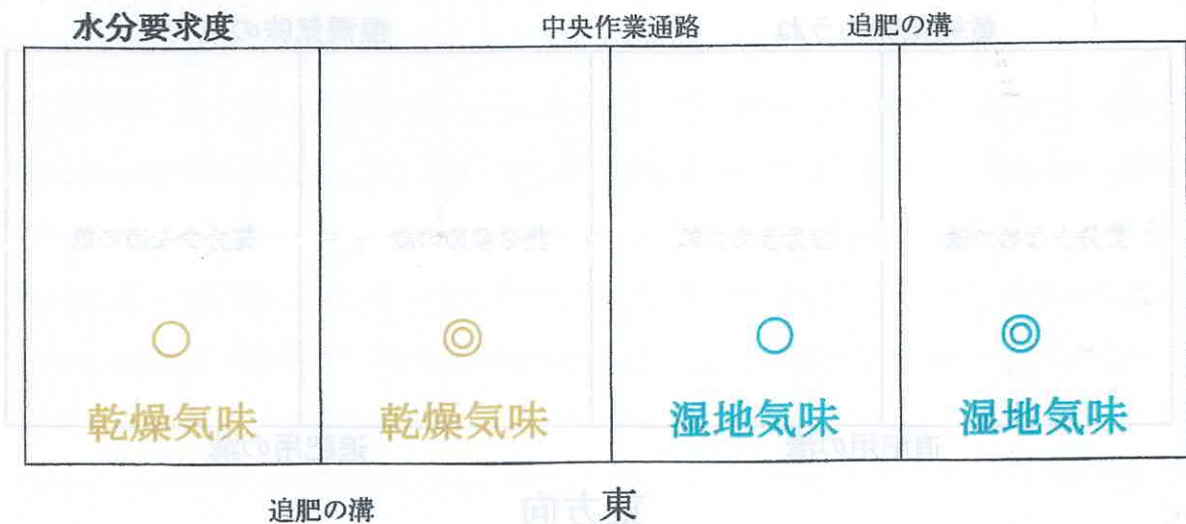
# 1年目から収穫する有機無農薬栽培 1

筒口 典康

## 1、野菜たちと土中の「湿度」「肥沃度」



## 2、耕作用地の地形



養分要求度	中央作業通路		追肥の溝
やせ地で  ○ 養分少なめ	やせ地で  ◎ 養分多め	沃地で  ◎ 養分多め	沃地で  ○ 養分少なめ

追肥の溝

東方向

### 3、耕地の準備

- 1、耕作地の地表全体を三角鋤で均す。 ラクラクの作業
- 2、耕作地の地表に 腐葉土(自作)、みのり堆肥(農協)、ダルマ堆肥(タキイ)、「糠」(精米所)、カニ殻(農協)などを撒く= 置く。手持ちの有機物を使う ラクラク作業
- 3、三角鋤で軽く混ぜる。 地表4~5cm。 地中深くに入れない。 ラクラク作業
- 4、中央に作業路幅を取る。 平シャベルですくって、北側の広畝に置く。
- 5、作業路の北側は養分の多い畝になる。 更に、その畝に「糠」を撒く。混ぜる。土ごと醗酵を待つ。 深く耕さない。南側の畝を養分少な目の畝にする。 北側の畝は養分多めにする。
- 6、周囲を宿根草野菜で囲む。(リン酸肥の吸収作用のある菌根菌の活用)

乾燥気味のうね		湿潤気味の畝	
養分少なめの畝	養分多めの畝	養分多めの畝	養分少なめの畝

追肥用の溝

追肥用の溝

東方向